

参考文献の引用様式

本文中の参考または引用箇所の右上に、右上付きのカッコ付き数字で、参考文献番号を記載すること（例1）。節や項などでまとめて引用する場合にはタイトルの右上に（例2）、段落でまとめて引用する場合は段落最終行の句点の右上に（例3）、参考文献番号を記載することができる。

例1： 文献の引用を記した様式^{1),2),3)}についてはいろいろなものが……

例2： 1-1 研究の背景^{1),2)}

例3： …についての説明は、以上のようにまとめることができる。^{4),5),6)}

引用文献リストは「6. 参考文献」に、9 pt の MS 明朝+Times New Roman で記載すること。形式は、次のようにする。

- 雑誌 引用番号 著者名：引用論文表題，掲載誌名，巻(号)，ページ (発行年)
- 例 1) 江州滋男：文献の引用に関する研究，文献図書科学，36(11)，pp.225-229 (1930)
 注意 1) 著者名の姓と名の間にはスペースを入れない。(アルファベットの場合は除く.)
 注意 2) 年代を囲む()は半角，Times New Roman. 以下，全て同様.
 2) T. Hidaka: Referring References, *Book Sciences*, 28(4), pp.1305-1309 (1945)
 注意) 共著者が2名のときは2名を「,」区切りで記し，3名以上のときは第一著者名・他，または"Author et al."と記載する(著者名に関しては以下，同様)。またページは単数ページの引用が "p.220"，複数ページの引用が "pp.220-223".
- 単行本 引用番号 著者名：書名，引用ページ，発行所 (発行年)
- 例 3) 江州滋男：文献の利用法，pp.229-233，県大出版会 (1999)
 4) T. Hidaka: *How to Use References*, pp.215-219, Academic Press (1998)
 5) 近江太郎：引用文献の表記法に関する研究，滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科 2012 年度卒業論文 (2013)
- 編書論文 引用番号 著者名：引用論文表題，編者名編：書名，引用ページ，発行所 (発行年)
- 例 6) 長浜滋彦：環境問題の未来と社会変動，長浜滋彦・木本マキ編：講座社会学 12 環境，pp.191-224，東京大学出版会 (1998)
- 事典類 引用番号 書名，発行所 (発行年)
- 例 7) 平凡社百科大事典，平凡社 (1990)
- 新聞記事 引用番号 新聞社名 (支社)，日付，第何面
- 例 8) 読売新聞 (滋賀)，2001-02-07，夕刊 17 面
- 私信等 (電子メール，手紙，電話，会話などで個人的に入手した情報の場合) 引用番号 相手名：日付，種類 (私信，電話，会話など)
- 例 9) 大津次郎：1998-12-09，電話
 10) 大津次郎：1998-12-08，電子メール
 注意) 個人のメールアドレスは掲載しないこと。
 11) 大津次郎 (琵琶湖株式会社総務部)：1998-12-09，電話
 注意) 所属を記載する場合は，相手名の後の全角 () 内に記載する。
- Web サイト 引用番号 サイト運営 (作成) 者名：ページ (記事) タイトル <URL>，情報入手日
- 例 12) 地球環境情報センター：データ<<http://www.geic.or.jp/choco2/member.html>>，2002-11-07
 注意 1) URL には下線はつけない。ページ (記事) タイトルとは html の<title>に相当するもので，ブラウザのタブ上部に表示される。
 注意 2) 電子ジャーナルや政府の刊行物など，Web 上にもあるが図書として出版されているものは，Web サイトとして引用するのではなく，刊行物として引用し，該当する文献の書式で掲載する。

以上